



根上松

ほほ笑み

第12号

平成29年1月15日

発行者

公益社団法人
小松法人会女性部会
石川県小松市園町二の1
小松商工会議所内
TEL(0761)24-2624
FAX(0761)23-3825

初春のごあいさつ



女性部会長 加納 陽子

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

親会様、青年部会の皆様、そして小松税務署の皆様方には、いつもご協力・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、女性部会は、平成10年3月に設立されてから今年で創立二十年目を迎えます。

この20年の間に、社会の中における女性の立ち位置は大きく変化し、また、会社経営における女性の果たす役割もその社会進出とともに大きく変わってまいりました。そうした変化の中にあって当部会は、歴代の部会長さんをはじめ、役員並びに会員の皆様方の積極的な取り組みとご協力によりまして、次代を担う子供たちに対する租税教室の開催や道路の除草作業活動、老人施設への慰問活動などの様々な地域への貢献活動を積極的に実施して参りました。

そうした女性部会の活動が評価され、昨年には日本道路協会から、長年の道路の除草作業活動に対して表彰状をいただきました。これも部会員の皆様の長年にわたるご協力があったからだと感謝申し上げます。

本年も、『法人会は税のオピニオンリーダー』として、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する、経営者の団体である』との法人会の「理念」に沿って、女性の感性と創造力を活かした様々な活動を通して、全員参加の開かれた魅力ある女性部会を目指して、事業活動（社会貢献、地域貢献）に取り組んで参りたいと考えておりますので、部会員の皆様はもとより、親会・青年部並びに税務ご当局のご支援とお力添えをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「魅力」



小松税務署長

長谷 治男

小松法人会女性部会の皆様方には、平素より税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と多大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましては、女性の視点に立った税の啓発活動、本会への事業活動の寄与、地域社会貢献、会員増強、部会員の資質の向上など「魅力」あふれる部会活動を展開されております。

私ども税務行政に携わる者といましては、皆様方の活動は大変頼もしく、心から敬意を表しますとともに、改めて感謝を申し上げます。さて、全国の都市を対象に「住みよさランキング」2016年版が発表されています。安心度、利便性、快適度、富裕度、住居水準充実度の5つの観点から15の社会経済指標を用いてランキング付けされますが、その中でもとりわけ北陸三県は、トップ20に9都市、トップ30に14都市とおおむねその半数を占め、改めて北陸の都市の「魅力」が現れた結果となっております。

また、華々しく開業した北陸新幹線は、やがて開業2周年を迎えますが、北陸への観光客は、当初予想された首都圏のみならず、関西・中京方面からも増加し、多くの観光地がにぎわいを見せています。

これらのことは、北陸の人々が古くから「魅力」ある街づくりに携わってきた賜物であり、また、その人柄にも「魅力」があつたからこそ成し得たものであります。

会員の皆様方には、日頃より各種活動を通じて税の啓蒙に取り組んでいただいておりますが、その中でも特に小学校で開催されている租税教室は、税の仕組みや大切さにはじまり、私たちの税が北陸という「魅力」ある地域社会の繁栄に繋がるものであることを、たくさんの子供たちに知ってもらう機会であり、その重要な役割を担っていただいていることに、重ねて感謝申し上げます。

今後とも、皆様方御一人おひとりが、女性の豊かな感性と創造性を活かすとともに、様々な活動や行事を通じて、「魅力」ある女性部会となられるよう期待しております。

結びに当たりまして、公益社団法人小松法人会女性部会のますますの御発展と、皆様方にとって穏やかでよりよい年となるよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成28年分 申告所得税・復興特別所得税及び消費税・地方消費税 (個人事業者)の確定申告と納税は正しくお早めに

申告所得税及び復興特別所得税の場合

- 申告と納付の期限は

3月15日(水)

- 振替利用者の振替納付日

4月20日(木)

消費税及び地方消費税の場合

- 申告と納付の期限は

3月31日(金)

- 振替利用者の振替納付日

4月25日(火)

全員大会・小松税務署長の講演会を開催

6月21日(火) サンルート小松にて平成28年度小松法人会女性部全員大会を開催しました。加納女性部会長のあいさつの後、平成27年度事業報告、28年度事業計画の報告等を行いました。平成28年度も会員の自己研鑽、社会貢献、税への理解を深め納税意識を高める活動など、しっかりとした目的に基づいた女性部会活動を行っていくことを決定しました。

その後、上田小松税務署長様よりお話を伺いました。白山、手取川の美しい景観、人間国宝や文化勲章者を数多く輩出している九谷焼、山中塗、小松の石産業、小松のお寺群、石川県随一(全国的にも)の歴史のある粟津温泉、辰口温泉等について他県の出身者としての観点から語って頂き、私たちの地域の魅力について改めて気づかされました。

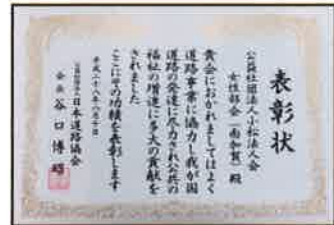
新幹線が金沢まで延伸し今後更に関西方面に延びていく予定ですが、金沢とはまた一味違った地域の魅力を磨きPRする事の大切さと観光産業の発展の可能性を感じました。(高長美津子)



社会貢献活動

● 長年の除草作業に対して表彰

女性部会が長年にわたり取り組んできた道路の除草作業に対して、8月10日(水) 日本道路協会から表彰状が贈られました。これも女性部会員が10年以上にわたり道路美化活動に取り組んできた賜であり、部会員の献身的な協力に感謝いたします。



● 除草作業

女性部会では、本年も社会貢献活動として、10月7日(金)に秋の除草作業を実施しました。除草作業は春と秋の年2回実施しており、本年度からは松市・加賀市に加えて新たに能美市に於いても実施しました。会員らは、花壇の草やゴミ拾いに汗を流しました。



小松市



能美市



加賀市

● Stayプロジェクト



連日猛暑が続いた7月24日(日)にアルプラザ小松に於いて、買い物客らに家庭でも取り組める省エネ対策のチラシやうちわを配り節電への協力を呼びかけました。この活動は、電力の供給不足が懸念されるなか、家庭での節電行動を広く訴える活動「いちごプロジェクト」で、女性部会が中心となって全国各地で継続して取り組んでいます。



● 老人施設慰問

9月14日(水)能美市下ノ江町の特別養護老人ホーム「ポニユール根上苑」を訪れ、女性部会員等による、共通の言葉を当てるクイズや水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」の曲に合わせて体操を楽しみました。

また、フローリオのメンバーによるマンドリン演奏で「南国土佐を後にして」や「夏は来ぬ」など8曲を一緒に歌い、得意な曲になるとマイクを通して歌います。お年寄りの方もおり心が和みました。最後の「オリーブの首飾り」は、曲に合わせて会員らがマラカスやタンバリンを鳴らし会場が盛り上がり、入所者の皆さんとの交流を深めました。



研修旅行

9月6日(火)・7日(水)参加者27名にて静岡方面へ研修視察旅行を実施しました。研修先は、国内最大規模の生産拠点であるヤクルト富士裾野工場。

はじめにヤクルト創業者 代田博士のヤクルトに賭けた思いや商品の説明をビデオで観ました。その後工場内へ移動。そこには大きな培養タンクがいくつもあり、ジョアができるまでの製造工程や、ラベルを容器にパッケージングしジョアを詰める生産工程を見学しました。

工程の中でも、タンクの洗浄、殺菌作業の衛生管理の徹底ぶりには感心しました。また、工場から排出されたプラスチック容器は、カードスタンドや定規などの資源としてリサイクルされており、ヤクルトの環境活動の取り組みにも感心しました。



租税教室

本年度も、次代を担う子供たちに租税の意義や役割を正しく学んでもらうための租税教室を11月9日(水) 勅使小学校で開催しました。

授業では、会員らが紙芝居やクイズを通して、税金の仕組みや使い道について分かりやすく説明をしました。税金がなくなると町はどうなるのか。みんなの身のまわりにはどのような税金が使われているかなど、税金について一緒に考えました。

最後に児童たちは「税金は必要なもの、大人になったらしっかり納めたい」などの感想を頂き、少しでも税金の仕組みが分かってもらえて嬉しく思いました。本年度の租税教室は、勅使小学校の他、符津小学校、犬丸小学校及び分校小学校でも実施しました。



活動報告

◆平成28年

- 4月8日 研修旅行実行会議(1回目)
- 4月14日～15日 全国女性フォーラム 福島大会 県女連 正副会長会議
- 4月19日 県女連 正副会長会議
- 4月26日 除草作業(小松市・加賀市)
- 5月11日 研修旅行実行会議(2回目)
- 5月25日 いちごプロジェクト実行会議
- 5月25日 老人施設慰問実行会議
- 6月7日 県女連
- 第16回定時連絡協議会(総会)
- 県青連・県女連合同(記念講演会)
- 6月21日 全員大会・講演会・意見交換会
- 7月24日 いちごプロジェクト
- 8月22日 租税教室実行会議
- 9月6日～7日 研修旅行
- 9月14日 老人施設慰問
- 能美市「ポニユル根上苑」
- 10月7日 除草作業(小松市・加賀市・能美市)
- 11月9日 租税教室・加賀市(勅使小学校)
- 11月16日 広報編集会議
- 11月17日 租税教室・小松市(符津小学校)
- 12月7日 正副会長会議
- 12月7日 プルタブ及びキャップの贈呈
- 12月9日 租税教室・小松市(犬丸小学校)
- 12月9日 租税教室・加賀市(分校小学校)

将来の社会保障費

- 今後、高齢化はさらに進展し、いわゆる「団魂の世代」が2020年代初頭には後期高齢者である75歳以上となりはじめます。1人当たりの医療や介護の費用は年齢とともに急増することから、持続可能な社会保障制度の確立が急務となっています。

75歳以上人口の増加と1人当たり医療費・介護給付費

	全人口に占める人口数及び割合		医療 (2013年)		介護 (2013年)	
	2013年	2025年	1人当たり国民医療費	1人当たり国庫負担	1人当たり介護給付費	1人当たり国庫負担
	2013年 ▲約1,100万人 (64歳以下: 9,540万人 → 8,409万人)	2025年	(64歳以下: 17.8万円)	2.6万円	(括弧内は要支援・ 要介護認定率)	
65~74歳	▲約150万人 1,630万人 (12.8%) → 1,479万人 (12.3%)		55.3万円	8.0万円 ↓ 約4倍	5.0万円 (4.5%) ↓ 約9倍	1.4万円
75歳以上	+約620万人 1,560万人 (12.3%) → 2,179万人 (18.1%)		90.3万円	34.6万円	47.0万円 (32.1%)	13.4万円

将来の社会保障給付の見通し



「みんなで入ろう 田んぼの湯」

辰口温泉 たがわ龍泉閣

女将 田川 幸子

辰口温泉は、昔、湯治場で金沢の奥座敷と呼ばれていました。当時、金沢から徒歩で行ける一番近い温泉でした。旅館も十件程ありました。

六代目女将でございます。嫁いで四十六年目になります。当時は田んぼと小高い山に囲まれた田舎の旅館でした。その後、加賀産業道路、山側環状線と道路が開通し、多くの企業、住宅、ゴルフ場、北陸先端大学、いしかわ動物園等が進出。でもまだまだ自然、里山がたくさん残っております。自然豊かな住み良い所です。

辰口温泉は昔から皮膚病によくきき、美人の湯で知られています。十年前に露天風呂を大きくし、昔の田舎の風景をながめながら男女一緒にゆつくりお入り頂ける「田んぼの湯」をオープン。「みんなで入ろう 田んぼの湯」大浴場をはじめ、露天風呂「田んぼの湯」貸し切り風呂、サウナ風呂等、風呂自慢で大変お客様に喜ばれています。どうぞ、ごゆっくり温泉にお入り頂き、旬の素材を生かしたお料理でおくつろぎ下さいませ。心よりお待ちしております。

また、たがわ龍泉閣より車で三分、姉妹館 料亭 萬葉（温泉料理旅館）二千坪の敷地に十室の客室。大人の隠れ家、静かな旅館です。日頃のお疲れをどうぞいやして下さいませ。



小松市社会福祉協議会へ プルタブ・エコキャップの贈呈

12月7日（水）小松市社会福祉協議会へプルタブ8kg・キャップ36kgを贈呈しました。

この活動は、女性部会員が中心となって取り組んでいるもので、集めたキャップは世界の子供たちのワクチン購入のための費用に充てられます。この取り組みに対する皆様方の温かい善意に感謝いたします。



プルタブ・エコキャップの 収集にご協力を...

当女性部会では、地域社会貢献活動の一環として、空き缶のフタに付いている「プルタブ」とペットボトルの「キャップ」を集めています。

事務局では随時受付けておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(注) ペットボトル以外のキャップは回収できません。
(キャップは軽く洗浄し、乾かして下さい)

編集後記

「ほほ笑み12号」を発行するにあたり、皆様にはご協力、ご寄稿を頂きありがとうございます。

今後とも、皆様方より貴重なご意見やご希望をお聞かせ頂けたら幸いです。